

評価問題例

- 1 1個 a g のかんづめ12個を500 g の箱につめると、全体の重さは b g であった。この数量の関係を等式に表しなさい。
- 2 妹の体重 x kg は、姉の体重 y kg よりも5 kg 軽い。この数量の関係を、3種類の等式に表しなさい。ただし、左辺と右辺を入れ替えた等式は同じ式とする。
- 3 Aさんは、 x km の道のりを時速 y km で進んだところ、40分かかりました。この数量の関係を、3種類の等式に表しなさい。ただし、左辺と右辺を入れ替えた等式は同じ式とする。

評価問題のポイント

[HOME](#)[単元の流れへ](#)[本時の流れへ](#)

「関係を表す式」では、文章(日常生活の場面)と文字との関係性をしっかりと見いだすことが大切である。文字の認識過程には、「状況の説明(問題文)の理解」、「数量や数量関係を言葉に表す」といった段階がある。評価問題においては、それぞれの側面を評価できるように問題設定をしなければならない。

1の問題については、本時の課題①を等式として表す類題であり、状況の説明の理解を見る問題である。何と何がつり合っているかに気付かせることが大切である。

2の問題については、本時の課題③の類題である。図や絵に表しやすい状況設定であるので、頭の中だけでなく、ノートで整理して考えさせることが大切である。

3の問題については、本時の課題③の類題であるが、苦手な生徒が多い速さの問題である。また、「時速」と「40分」と単位が違っている。等式の両辺は同値なので、それぞれが表しているものの単位がそろっているか注意させることが大切である。